

事業名		事業概要	執行額総額	交付金充当額	支出等内訳	検証結果
1	手作りマスク制作事業	感染予防対策を講じることとして、笠置町社会福祉協議会が実施した手作りマスク配布事業に対して補助を行いました。	200,000	200,000	社協への補助 200,000円	<p>事業実施当時、マスクの入手が困難な時期ということもあり、社協が実施主体となった本事業への補助を通じて、住民へのマスク配布による安心を届けると共に、マスクの手作り・配布を通じた人と人、地域と地域のつながりができ、マスク作成をされた住民の方からも、良い取り組みであったとの声をいただいております。</p> <p>【参考：社協の取組み】 マスク230枚作成し、第1弾として町全世帯に広報し必要とされる家庭に郵送(1家庭に2枚)、第2弾では80歳以上のひとり暮らし世帯の方に郵送、第3弾では75歳以上のひとり暮らし世帯の方に郵送</p>
2	公共的空間安全・安心確保事業	来庁者や会議出席者などの体温測定用として、非接触型の体温計の購入と非接触体温検知サーマルAIカメラを購入しました。	1,671,120	1,671,120	非接触体温計：12台 サーマルAIカメラ：7台 専用ポールスタンド：7台 AIカメラ設置先：第1庁舎(2台)、第2庁舎、笠置会館、産業振興会館、つむぎてらす、いこいの館	<p>新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため体温計などの購入を図り、来庁者に対する体調管理と会議開催主体となる笠置町としての体制づくりをすることができました。</p> <p>役場をはじめとする公共施設においてクラスターが発生しなかったことから、一定の効果があったものとしています。</p>
3	社会システム維持のための衛生確保事業	除菌など衛生管理を目的とした次亜塩素酸水生成器を購入しました。	1,559,800	1,170,800	次亜塩素酸水生成器：2台 設置先：第1庁舎、保育所 (交付金充当差額389,000円は府補助金)	<p>事業実施当時、新型コロナウイルス感染予防に有効なアルコール消毒液の入手が困難な時期ということもあり、保育所に次亜塩素酸水生成器を購入し、生成した次亜塩素酸水で、出入り口のガラス戸、子どもの机やトイレのノブなどを拭くことにより感染予防対策を図ることができました。</p>

事業名	事業概要	執行額総額	交付金充当額	支出等内訳	検証結果
4 防災活動支援事業	<p>備蓄マスク、手指消毒液、避難所用パーテーション、防災用発電機などを購入し、避難所における感染対策を図ることができるよう防災備蓄品などの充足を図りました。</p>	10,955,308	10,344,308	<p>①マスク：50,000枚(普通・小さめ) 保管場所：すまいるセンター ②消毒液：175個 ③給水用組立式タンク：2セット 保管場所：すまいるセンター ④パーテーション：50セット 保管場所：すまいるセンター ⑤ベッド：50台 保管場所：すまいるセンター ⑥ブルーシート 1.8m×1.8m：150枚、5.4m×5.4m：50枚 保管場所：すまいるセンター ⑦酸素濃度計：2台 ⑧防災用発電機 中型：3台 設置先：役場、小学校、産業振興会館 ⑨防災用発電機 小型：8台 設置先：笠置会館、つむぎてらす、南部公民館、西部集会所、サテライトオフィス、切山総合センター、北部集会所、飛鳥路集会所 ⑩防災用蓄電池：15台 設置先：小学校、産業振興会館、つむぎてらす、笠置会館、各区集会所、保育所、老人福祉センター、児童館、サテライトオフィス、生楽（避難所15か所） ⑪ガス供給ボックス：11セット 設置先：役場、小学校、産業振興会館笠置会館、つむぎてらす、南部公民館、西部集会所、サテライトオフィス、切山総合センター、北部集会所、飛鳥路集会所 (交付金充当差額611,000円は府補助金)</p>	<p>災害発生時における避難所運営の在り方が新型コロナウイルス感染症を契機に見直されたことから、従来の避難所生活における感染対策を主に目的とした必要物資の整備をすることができました。</p>

事業名		事業概要	執行額総額	交付金充当額	支出等内訳	検証結果
5	社会生活維持関連事業者の換気システム設置応援事業	各区避難所の換気環境の改善・感染防止対策を図ることとして、各区が実施した換気・空調改修事業に補助を行いました。	4,063,560	4,063,560	○換気システム設置応援事業（各区集会所エアコン・換気扇設置） 東部区 400,000円 北部区 380,000円 切山区 399,000円 飛鳥路区 400,000円 西部区 400,000円（換気扇のみ） 南部区 396,000円（1階部分） ○避難施設感染防止対策強化事業 南部区 1,550,560円（2階部分空調） ○避難施設空調強化事業 西部区 138,000円（1階空調）	新型コロナウイルスが飛沫感染拡大が続く中、施設内の空気循環・空気清浄に注目がされたことから、有事の際の避難所となる各区集会所における換気・空調機器の改修を実施し、感染対策を施すことができました。 なお、各区集会所については避難所のみならず、各区の行催事にも活用されていることから、住民の区内での活動に寄与することができました。
6	避難所安心確保事業（令和2年度完了分）	トイレが汲み取り式となっていた笠置町切山区避難所において、クラスターの発生リスクを抑えることなどを目的として、同所のトイレ改修を実施しました。	2,000,000	2,000,000	切山区 2,000,000円	本事業では切山総合センターにおけるトイレの改修を実施しており、内容として合併浄化槽の設置と自動水洗トイレへの改修が行われました。 事業番号5と同様に、区民活動に利用される集会所の衛生面の向上を図ることにより、新型コロナウイルス感染症リスクの低減と共に、利用される方の利便性の向上を図ることができました。
7	事業継続支援助成費	感染拡大防止などを目的に実施された休業要請に応じた中小企業・個人事業者への事業継続を支援することとして、休業要請に応じた事業者に対して20万円を上限に支援金を支給しました。	1,200,000	1,200,000	100,000円×8事業者＝800,000円 200,000円×2事業者＝400,000円	新型コロナウイルス感染症拡大による京都府の休業補償に基づき事業者へ支援金を支給することで、事業者の事業継続に寄与することができました。 【参考：給付要件等】 中小企業・団体：20万円 個人事業主：10万円 ※京都府休業要請対象事業者支援給付金を受けられた企業等に上乗せ支給（町への手続き不要）

令和2年度 笠置町新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 検証結果

(単位：円)

事業名		事業概要	執行額総額	交付金充当額	支出等内訳	検証結果
8	笠置町情報環境整備事業	アフターコロナを見据えた観光の町・笠置の更なる活性化のため、笠置町産業振興会館と笠置キャンプ場を対象エリアとして、フリーWi-Fi環境整備をしました。	5,714,500	5,714,500	工事代金 5,714,500円	コロナ禍においてアウトドアに対して多くの方が注目されたところ。本町においても木津川河川敷きのキャンプ場は一年間を通じて多くのキャンパーが利用されます。アフターコロナを見据えた本事業は今後も広く活用できるものとして、また、多くの方に喜ばれる環境を整えることができました。

事業名		事業概要	執行額総額	交付金充当額	支出等内訳	検証結果
9	公立学校情報機器購入整備事業	<p>コロナ禍において学習機会を確保することが難しくなったこともあり、充実した学校ICT環境の構築を図るため、笠置小学校と笠置中学校に対し、タブレットや大型モニター、デジタル教科書などを設置・整備することとして、相楽東部広域連合へ負担金を支出しました。</p>	14,845,454	14,845,454	<p>①GIGAスクール笠置小学校分 10,613,630円 児童用タブレット：24台 LTEモバイルルーター：6台 モバイルルーターアダプター：6個 タブレット保管庫：1台 タブレット充電配電作業：1台 タブレット案件管理費 予備用タブレット：3台 教職員用タブレット：6台 大型モニター：1台 SIMカード：6台 ソフトウェア・デジタル教科書・システム保守・作業費・端末延長保証</p> <p>②GIGAスクール笠置中学校分 12,472,746円のうち4,231,824円（笠置町分（均等割50%、生徒数割50%算出）生徒数56人、うち笠置町10人） 児童用タブレット：56台 LTEモバイルルーター：3台 モバイルルーターアダプター：3個 タブレット保管庫：2台 タブレット充電配電作業：2台 タブレット案件管理費 予備用タブレット：5台 教職員用タブレット：5台 大型モニター：1台 SIMカード：3台 ソフトウェア・デジタル教科書・システム保守・作業費・端末延長保証</p>	<p>コロナ禍における学校授業再開・授業スタイルの改革の影響も大きくなる中で、充実した教育環境を整えることを目的とした事業として実施しました。整備されたタブレット等を活用した新たな教育施策が進められており、児童やその保護者から大変喜ばれているとの声をいただいております。</p>

令和2年度 笠置町新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 検証結果

(単位：円)

事業名		事業概要	執行額総額	交付金充当額	支出等内訳	検証結果
10	プレミアム付商品券事業	町内事業者と住民生活の家計を支援するため、プレミアム付商品券事業を実施しました。	1,400,000	1,400,000	地域消費緊急拡大事業 1,400,000円（笠置町商工会への補助事業）	<p>新型コロナウイルス感染症によって町内商工業者の機運が下がる中で、プレミアム商品券を通じて町内での消費拡大に繋げることができました。</p> <p>町内事業者の方からも地域の活性化に繋がったものとして評価をいただいております。</p> <p>【参考：プレミアム商品券発行数等】 500円券26枚綴りを1セット10,000円で販売 発行総額7,800,000円 (販売総額：6,000,000円) 回収総額：7,793,000円（回収率99.9%）</p>
11	子育て世帯への臨時特別給付金	新型コロナウイルス感染症のために休校となり、新たに負担が発生した住民生活の家計を支援するために、中学生以下の子供がいる家庭に対し、子供1人あたり1万円を追加給付しました。	510,000	510,000	給付総額 510,000円	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、学校休業により、昼食代(笠置町では学校給食費は無償化となっている)をはじめとする在宅による家庭内出費が増加している状況下にありました。そこで子育て世帯への支援として給付事業を実施することで、家計負担の軽減に繋げることに寄与することができました。</p> <p>【参考：対象児童数等】 対象児童数：51名 給付児童数：51名（給付率100%） 要綱策定日：R2.6.29</p>
12	役場感染防止強化事業	庁舎をはじめとする町有施設内における飛沫感染防止対策等を行うこととして、町有施設内各所にパーテーションを設置しました。	682,003	682,003	職員間パーテーション：34台 飛沫ブロッカー：15台 窓あきパーテーション：3枚 仕切りボード：4枚 パーテーション用・間仕切り用材料購入	<p>飛沫による感染拡大を防ぐため、パーテーションなどの購入・設置をしました。事業番号2と共に、役場等公共施設内におけるクラスター発生が生じていないことから、一定の効果があったものとしています。</p>

事業名		事業概要	執行額総額	交付金充当額	支出等内訳	検証結果
13	行政IT化促進事業	窓口対面機会を減らすことによる感染リスクの低減や、健康指導施策の向上を図るため、公開情報を適正に管理する台帳のWEBシステムの構築と、健診データの電子化・健康管理システムの導入を実施しました。	4,735,500	4,735,500	健康管理システム 2,073,500円 個人情報台帳整備委託費 2,662,000円	健診データのIT化(過去の健診データを電子化する)により、よりきめ細やかな健康指導を実施することが可能となりました。このことにより健全な健康状態を維持することが可能となり、新型コロナウイルスの感染拡大・重症化予防を図ることができました。
14	文化財活用による観光振興事業	アフターコロナの観光振興を見据え、現在利用できていない笠置町北部区のお祭りの文化を観光資源として活用するため、施設改修を実施しました。	1,500,000	1,500,000	北部区 三神宮 1,500,000円	笠置町を訪れたハイカーに、笠置町の文化財は笠置寺だけでなく、各地域に点在する文化財も知ってもらいたいと北部区より提案のあったものです。三神宮において秋のお祭りに活躍する神輿をいつでも見学できるようになったことにより、アフターコロナを見据えた観光コンテンツの整備をすることができました。
15	キャンプ場3密解消事業	笠置町の木津川河川敷にあるキャンプ場に来られる方の過密状態を防ぐため、同キャンプ場を管理している(一社)観光笠置が設置したキャンプ場ライブカメラ設備整備に対して補助を行いました。	781,000	781,000	団体補助 781,000円	キャンプ場に向けてライブカメラを設置することにより、感染が心配される過密状態の軽減を図ることを目的に、キャンプ場の状況を広く多くの方に提供することができました。また、在宅にあっても四季を通じた笠置キャンプ場の風景を配信することができました。 【参考：YouTube登録者数】 本配信をしているYouTubeチャンネルの登録者数7,000人超(令和6年2月現在)

令和2年度 笠置町新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 検証結果

(単位：円)

事業名		事業概要	執行額総額	交付金充当額	支出等内訳	検証結果
16	敬老会記念品発送事業	感染拡大等を防ぐため、毎年度、協力員による自宅への訪問・手交としている敬老会記念品を郵送によるものとしました。	479,710	479,710	委託料 479,710円	例年、敬老会記念品については協力員が自宅を訪問し手交していましたが、接触による感染拡大を防ぐため、物品を郵送としました。コロナ禍であっても高齢者を敬う意識の向上が図ることができました。 【参考：記念品贈呈者数】 対象者数（75歳以上）392名（R2.9.1現在） うち受取辞退、住所未確定者など11名あり（未贈呈者数）
17	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止啓発事業	今後の感染拡大を防止するため、各世帯に啓発チラシを配布しました。	810,588	810,588	パンフレット：700冊 マスク：10枚入り×1,300個 発送委託・宛名ラベル購入	各世帯にマスク（1世帯当たりマスク20枚）の配布と健康を守るための啓発冊子を送付することにより、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に寄与することができました。
18	新型コロナウイルス感染症予防対応事業	笠置小学校と笠置中学校の生徒、教員の感染症予防対策として、マスクや手指消毒液、ハンドソープ等の購入費として相楽東部広域連合に負担金支出しました。	341,140	341,140	児童・生徒・教師の感染症予防対策として（相楽東部広域連合管内の小・中学校） 執行済経費 2,078,178円 うち笠置町負担分 341,140円（人口割算出） フェイスシールド100枚、手指消毒液20個、ペーパータオル140個、卓上消毒液スプレー21本、非接触型温度計10個、サーキュレーター43台 他	教育施設における新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、有効とされている物品の購入・設置を実施したことにより、一定の感染拡大を防止したものとしています。
19	新型コロナウイルス感染症予防対応事業	社会教育施設等の感染症予防対策として、手指消毒液や非接触型体温計、便座除菌クリーナーなどの購入費として相楽東部広域連合に負担金支出をしました。	54,658	54,658	社会教育施設等の感染症予防対策として（相楽東部広域連合管内の施設） 執行済経費 332,546円 うち笠置町負担分 54,658円（人口割算出） 消毒液50個、マスク31個、ビニール袋2個、除菌ウェットティッシュ2個、便座除菌クリーナー2個 他	社会教育施設における新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、有効とされている物品の購入・設置を実施したことにより、一定の感染拡大を防止したものとしています。
20	避難施設感染防止対策事業	笠置町南部区の避難場所で使用する非接触体温計と手指消毒液の購入費用を補助しました。	66,700	66,700	南部区 66,700円	事業番号5・6と同様に、区民活動に利用される集会所の衛生面の向上を図ることにより、新型コロナウイルスの感染リスクの低減と共に、施設利用者の利便性の向上を図ることができました。

事業名		事業概要	執行額総額	交付金充当額	支出等内訳	検証結果
21	感染予防対策給付金事業	冬場における感染拡大の防止や、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザのダブル流行を防ぐため、感染症対策として住民1人あたり5千円を給付しました。	6,308,970	6,308,970	給付金 6,240,000円 振込手数料 68,970円	<p>各々の生活様式に応じた感染予防対策を実施していただくための支援として一人当たり5,000円を給付しました。冬場における新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行を防ぐ対策行動に寄与することができました。</p> <p>【参考：対象人口等】 R2.12.1人口：1,250人 給付実績人数：1,248人（給付率99.8%）</p>
22	生活支援給付事業	感染拡大に伴って、障がい者の雇用情勢が悪化していることから、町内在住の障がい者を雇用する事業所に雇用の維持を図る目的として助成金を支給しました。	95,280	95,280	給付金 95,280円	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、生産活動縮小を余儀なくされている事業所に対し、給付金を支給したことにより、町が援護を行う障がい者の生活及び事業所の継続的な生産活動の支援に寄与することができました。</p> <p>【参考：対象事業所数等】 対象事業所数：1カ所 対象者：2名</p>
23	医療・介護事業所支援事業	町内の医療機関、保険薬局、介護サービス事業所に対して、感染拡大防止のための対策等の支援、医療や介護サービスの安定的な継続を図るため、給付金を給付しました。	1,000,000	1,000,000	医療事業所 600,000円（3事業所） 介護事業所 400,000円（2事業所）	<p>長引く新型コロナウイルス感染症の中、医療や介護サービスを提供していただいている事業者の負担が大きいのとなっていました。そのため、事業者に対して感染拡大防止対策として支援したことにより、サービスの安定的な継続に寄与することができました。</p>
24	子育て応援給付金事業	新型コロナウイルス感染症により様々な影響を受けている子育て世帯に対する支援として、中学生以下1人につき3万円を支給しました。	1,683,190	1,683,190	給付金 1,680,000円 振込手数料 3,190円	<p>子育て世帯の生活を支援するため、児童一人当たり3万円を支給したことにより、新型コロナウイルス感染症の影響で長引く子育てに対する負担の軽減に寄与することができました。</p> <p>【参考：対象児童数等】 対象児童数：56名 給付児童数：56名（給付率100%） 要綱策定日：R3.2.25</p>

令和2年度 笠置町新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 検証結果

(単位：円)

事業名		事業概要	執行額総額	交付金充当額	支出等内訳	検証結果
25	笠置町事業継続おうえん事業	2度目の緊急事態宣言により、ダメージを受けている町内事業者に対し、今後の事業継続を応援するため、1事業所あたり35万円の給付金を支給しました。	22,450,000	22,450,000	給付金 22,400,000円 (64事業所) 委託料 50,000円	緊急事態宣言下における事業者への経営支援をすることができました。
26	子ども・子育て支援交付金	緊急事態宣言により、学校が休校している間における、放課後児童クラブを開所するための追加的経費に交付金を充当しました。	42,000	42,000	会計年度任用職員報酬 (一部に充当) 42,000円	緊急事態宣言により、学校が休校している間に放課後児童クラブの開所時間を広げることにより、子どもの居場所を確保することができました。 【参考：開所時間】 通常時：放課後から18時 宣言期間中（休校時）：7時30分から18時